

行政評価委員会 委員からの意見・要望等

(1) 実施日 令和3年10月14日(木)

(2) 行政評価委員 古川智史委員長(松本大学総合経営学部専任講師)、三村精一副委員長((株)市民タイムス総務局長)

上石保之委員(朝日村商工会長)、上條典泰委員(松本ハイランド農協朝日支所代表理事)、大井浩之委員(八十二銀行塩尻支店長)

(3) 提案・意見・質問は、以下のとおり

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|-------------------------|----|--|----------------|--|
| 1 | 1-1 | 結婚・妊娠・出産がしやすい支援の強化を図ります | 提案 | 朝日村の子育て支援施策が魅力的で転入してきた人がどのくらいいるか。また、子育て支援施策の効果で出産したのかどうか確認して施策に反映してはどうか。 (個別インタビュー、ヒアリング等で対応ができないか) | 住民福祉課 教育委員会 | <p>【教育委員会】 経済的支援は一定の効果はある。住民福祉課と協力し、母子手帳交付時のアンケートに項目を追加し、出産祝金があることで出産につながっているのか調査し反映を検討する。</p> <p>【住民福祉課】 妊娠時に保健師が介入しアンケート調査を実施しているので、合わせて調査する。</p> <p>【企画財政課】 移住者(転入者)に対して、朝日村へ転入してきた背景等を任意でアンケートを実施する。</p> |
| 2 | 1-1 | 結婚・妊娠・出産がしやすい支援の強化を図ります | 提案 | 子育て支援として様々な事業を行っているが、支援がなくても出産する人はいる。 経済的なサポートは無いよりあった方がいいが、それよりも就業支援等、他の支援の充実を考えてはどうか。 | 住民福祉課 教育委員会 | <p>【教育委員会】 病児・病後児保育の実施に向けて検討している。既に子育て世帯包括支援センターを設置し、相談体制も整えている。</p> <p>【住民福祉課】 妊産婦には不妊治療助成・妊産婦検診・里帰り出産時健診補助・妊婦への福祉医療給付等の支援を実施している。</p> |
| 3 | 1-1 | 結婚・妊娠・出産がしやすい支援の強化を図ります | 質問 | (KPI実績) 里帰り出産時の産婦検診補助件数が少なく感じる。1件、2件という実績はコロナの影響か。 | 住民福祉課 | 令和2年度は妊婦・産婦共に検診補助各1件ずつ。令和3年度は0件。コロナ禍で受診控えがあったようにコロナの影響が考えられる。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|------------------------------|----------|--|----------------|--|
| 4 | 1-1 | 結婚・妊娠・出産がしやすい支援の強化を図ります | 質問 | 出産祝金は良い制度だと思うが、魅力ある、婚姻件数を増やす事業が実施されているか。 | 企画財政課 | 結婚相談事業については、コロナ禍で実施できなかったが、婚活イベントを実施予定だった。相談事業（マッチングシステム）は登録者25人（村内者5人） |
| 5 | 1-1 | 結婚・妊娠・出産がしやすい支援の強化を図ります | 提案 | 移住者の動向を分析すると、村の支援や社会情勢など、何が影響しているか判断できるのではないか。 | 企画財政課 | 移住者（転入者）に対して、朝日村へ転入してきた背景等を任意でアンケートを実施する。 |
| 6 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 意見 | 現在のKPI実績では状況が見えてこない。（評価できない）目標値の設定は大切だが、当該世代者が本当に要望していることが、施策に反映されているかということがわかる目標値なのか。 | 住民福祉課 教育委員会 | 【教育委員会】 子ども子育て支援事業計画のニーズ調査（アンケート）の項目にもなっており、関連事業内で満足度の把握をし、年度事業への反映を検討する。 |
| 7 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 提案 | 指標設定の難しさはあるが、ニーズをどのように把握して取り組んでいるのか。（指標を工夫することが大切） | 企画財政課 | 計画策定時に、若い世代（20～40代）に対してニーズ調査を実施している。 KPIについて今後検討する |
| 8 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 質問 提案 | 経済的な子育て支援はこの市町村も行っているが、他市町村との比較はどうなっているか。（結婚のマッチングをやめて、こちらにシフトしたらどうか） | 教育委員会 | 出産祝い金については、市町村によって違うが、特別当村が多い少ないということはない。 |
| 9 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 質問 | 子育て支援サイトのアクセス数が増えている。若い世代の人は関心が高いので続けてほしいが、中身としてどのような項目があるか。 | 教育委員会 | 具体的な支援制度の内容について発信している。 子育て支援センターの活動、保育園未就園児など（子どもの受け入れ）が実施できない状況下であったが、反面、支援につながる情報を例年以上にHPで発信した。 |
| 10 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 提案 | 村内の子どもを対象に活動をしているスポーツクラブ・サークル等を活用している保護者に、経済的支援を行ってはどうか。 | 教育委員会 | 村内のクラブ等は基本的に集金額が低い。また、本人、保護者の希望により活動していることなので、経済的支援は考えていない。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|--------------------------------|----|--|----------------|---|
| 11 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 提案 | 現在のKPI実績（ファミリーサポートセンターの利用者数）について、「0人」が続いている。支援できる人、支援してほしい人の実態把握を行ってはどうか。 | 住民福祉課 教育委員会 | 【教育委員会】 令和3年度は利用料に対して補助金を支給している。利用登録6件、補助金申請件数2件。折に触れ事業の紹介を行っている。 【住民福祉課】 妊娠届出時や新生児訪問時に、支援が必要な人には紹介している。 |
| 12 | 1-2 | 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います | 提案 | 子育て支援サイト内のコンテンツ・施策について、関心が高いコンテンツや施策を把握し、関心の高い施策を充実させてはどうか。 | 住民福祉課 教育委員会 | 【教育委員会】 閲覧数を把握し、ホームページ（サイト）、LINE等により、施策を充実させる。 |
| 13 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 提案 | 移住定住施策は全国の自治体を実施している。その中で、朝日村の置かれている環境、特徴ある施策を考えて発信していくことが良いのではないかと。（他と違った事をPRすることが良いのではないかと） | 企画財政課 | 移住婚等、全国自治体に先がけて実施している。 |
| 14 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 提案 | 現在の住宅施策（分譲、空き家）は、家族をターゲットとした施策。独身者をターゲットとした住宅施策を考えてはどうか。 | 企画財政課 | 若い世代や地域おこし協力隊等、独身者向けの賃貸住宅を検討する。 |
| 15 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 提案 | 2010年から2040年にかけて、20～30代の若年女性人口が50%以下になる消滅可能性自治体にあるという中で、「若者」を「若年女性」と捉えて、若年女性が住みやすいところはどんな地域なのか、どんな施策があれば良いかを考えてはどうか。 | 企画財政課 | 当村でも若年女性人口の維持が重要と捉えている。若年女性の人口維持のため、出産・子育てしやすい地域づくりを進めていく。 |
| 16 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 提案 | 村内の住宅が空き家になった場合等に、この住宅除却に関する支援を考えてはどうか。 | 企画財政課 建設環境課 | 令和4年度に空家対策計画を策定予定であり、その中で除却に関する支援を検討する。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|--------------------------------|----|--|-------|--|
| 17 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 提案 | コロナ禍での働き方（リモートワーク等）が今後どうなるか。高速回線などの環境整備が必要ではないか。 | 企画財政課 | 令和3年度事業（地方創生テレワーク交付金事業）により、民間のリモートワーク施設が開設。住宅等個々のインフラ整備等は民の力を活用（必要に応じて行政は支援を実施） |
| 18 | 2-1 | 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します | 質問 | 観光客を移住定住させる施策の「観光と移住の間の部分」についてどうPRしていくか。観光客を移住させる決め手の（体験型等）方向性はどうか。 何もないのが良いという意見もある。 | 産業振興課 | 村の魅力として、今ある自然、歴史文化、観光施設等を最大限活用していく。特にゲストハウス等へ滞在し、体験棟を活用した体験プログラムを開催することで、村の魅力を知る機会につなげていきたい。 まずは、呼び込むためのイベント（きっかけづくり）を観光協会と進めている。 |
| 19 | 2-2 | 村の魅力に触れてもらい、移住へつなげる観光施策を推進します | 提案 | 「どんづまり」でいい。何もない村の自然を楽しめる場所を作ってはどうか。 | 産業振興課 | 野俣沢林間キャンプ場は、コロナ禍で利用が伸びている。新たに場所を作るのではなく今ある施設を活用しなから、今後さらにPRし魅力を伝えていきたい。 |
| 20 | 2-2 | 村の魅力に触れてもらい、移住へつなげる観光施策を推進します | 提案 | 令和元年度、2年度のKPIの分析（滞在型プログラムの参加者など）を行って、ニーズの把握をしてはどうか。 | 産業振興課 | 令和元年度は、体験型プログラムができ、特に力を入れて取り組んだが、その後コロナの影響により実施できなかった。コロナの状況を見て実施し分析をしていきたい。 |
| 21 | 2-2 | 村の魅力に触れてもらい、移住へつなげる観光施策を推進します | 意見 | 観光施設（公共施設）のマネジメントどのように実施していくか。大切なポイントだと感じる。 | 産業振興課 | ノウハウを持っている民間事業者の力を借りながら、魅力を伝えつつ効率よく管理運営していきたい。 |
| 22 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 意見 | 多角化経営も必要だが、もっと必要なのは新規就農者を育成支援することや、多様な農家を受け入れることではないか。（例えば退職後の会社員など、多様な就農者を受け入れ、支援していくことも必要ではないか。） | 産業振興課 | 農業のモデルパターンの明示や、新規就農者への支援など、農家受け入れに対しても検討を進める。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|------------------------------|----|--|-------|--|
| 23 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 意見 | (農業は)朝日村にとってキーとなる事業だと思う。働く場としての農業は朝日村の特徴。行政でしか取り組めないことが多くある。 | 産業振興課 | 農業ビジョンの作成を通じて、今後の取組みについて検討する。 |
| 24 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 質問 | 新規就農者2人はどのような人か。 | 産業振興課 | 令和元年度の2名は、Uターンによる村内者である。 |
| 25 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 提案 | 収入が見込めれば、農業に取り組む若い世代は以前より増えていると思う。朝日村の農業のブランドイメージなどを前面に打ち出していけば、更に就農者が増えると思うがいかがか。 | 産業振興課 | このくらいの初期費用で、このくらいの規模の農業ができるというパターンを示して、多様な農業の支援をしていきたい。 |
| 26 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 質問 | 遊休荒廃農地について状況を知りたい。 | 産業振興課 | 遊休荒廃農地は、御馬越の奥、北村地区周辺、上組地区周辺等に一部あるが、農業委員等が確認し地主と相談している。急増している状況ではない。 |
| 27 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 質問 | C評価の事業について、理由を求める。 「援農支援」「営農支援センター補助金」 | 産業振興課 | 援農事業及び営農支援センター補助は実施したが、目標値への到達や事業目的の不明確な点など検討課題があり、C評価となった。 |
| 28 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 質問 | C評価の事業について、理由を求める。 「保育園や小学校への村内産農作物の提供」 | 産業振興課 | 女性担い手有志グループが食材の提供は行えているが、農業者と地域、村が連携して取り組めれば更に良かった。村が主導して事業を進められたかという観点で評価をしている。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|-------------------------------|----|---|----------------|--|
| 29 | 3-1 | 農作物の安定生産や多角化経営を目指した農業振興を行います | 質問 | 農業者の高齢化が進み、後継者がいないことで荒廃農地となる。荒廃農地を解消して、次の担い手にどのように引き渡していくか、仕組みを知りたい。 | 産業振興課 建設環境課 | <p>【産業振興課】 「人・農地プラン」を基に、農業委員等が担い手農家と話し合いながら、農地の集積を進めていく。</p> <p>【建設環境課】 山間部の農地（6区画）の圃場整備を行い、耕作しやすい農地を整備している。この事業で整備した農地を中間管理機構が全て借り受け、担い手へ渡していく。</p> |
| 30 | 3-2 | 森林の保全と資源の活用を推進します | 提案 | （鳥獣害対策協議会で）防護柵のための緩衝帯の整備を行っているが、緩衝帯では猿の対策にならないのでは。多額のコストをかけているので見直した方が良いのではないかと。むしろ景観を守るという意味では、松くい虫対策等にコストをかけた方が良いのではないかと。 | 産業振興課 | 緩衝帯について、今年度三ヶ組地区に取組むことで一連の事業が終わる。 |
| 31 | 3-2 | 森林の保全と資源の活用を推進します | 提案 | みどりの少年団育成協議会の事業について、観光にも繋がる。朝日小だけでなく、他の地域の少年団との交流も実施してはどうか。 | 産業振興課 | 他地域少年団との交流集会については、上部団体で毎年、計画・開催されている。村を会場とした交流の機会について村内林業団体等と協議していきたい。 |
| 32 | 3-2 | 森林の保全と資源の活用を推進します | 提案 | 松茸の出荷が（農協出荷分だけで）1,600万円あったが、山が齢をとってきて採れなくなってきた。以前は村がきの研究会に支援をしてきた経緯もある。村の特産物なので、働きかけをしてはどうか。 （関連して）森林資源の活用そのものではないかもしれないが、林産物の推進をもう一度検討してはどうか。 | 産業振興課 | 松茸収穫者と山林所有者が同一ではない場合がある。また、松茸林の整備は20年近く収穫できない事例もある。支援、働きかけは難しいと考えている。 今後は松茸にこだわらず、森林資源活用の手法を関係団体と研究する方向で検討している。 |
| 33 | 3-2 | 森林の保全と資源の活用を推進します | 提案 | 以前は村に製材所が何軒かあった。産業振興・循環型社会という面で、86%ある森林資源を活用できるような、製材所を作ることで、村独自の産業が興ればいい。 | 産業振興課 | 地方創生交付金を活用し、3年間で約6,000万円使って検討したが、村のカラマツ材については、販売先（流通）がないという結論に至った。 |
| 34 | 3-3 | 生産から製造、販売まで有機的に連携した商工業振興を行います | 質問 | 企業誘致について工業団地造成等実施しているか。団地を造成すれば良いということではないが、用地がなければ誘致も進まない。 | 産業振興課 | 現在、事業としては実施していないが、今後（2～3年後に）地権者の了解を得た上で工業用土地として確保していければ誘致を進めていきたい。 |

| NO. | 施策 | 施策内容 | 項目 | 評価委員からのコメント | 担当課 | 村の考え方・回答 |
|-----|-----|-------------------------------|----|--|-------|---|
| 35 | 3-3 | 生産から製造、販売まで有機的に連携した商工業振興を行います | 質問 | 地域おこし協力隊の起業、どのような業種か。 | 企画財政課 | 飲食関連業（キッチンカーによるクレープ屋）、ヤマメの養魚業、ゲストハウス業等。 |
| 36 | 3-3 | 生産から製造、販売まで有機的に連携した商工業振興を行います | 提案 | 地域おこし協力隊に限らず、若い人の起業支援が定住促進にも繋がると思うので、支援を考えてはどうか。 | 産業振興課 | 工場・事業所設置に対する補助制度や、設備投資・運転資金に対する融資制度はある。起業におけるソフト面（親元就業支援、後継者に対する補助金等の支援）での支援については今後検討する。 |
| 37 | 3-3 | 生産から製造、販売まで有機的に連携した商工業振興を行います | 提案 | 原新田地区と松本市今井の間の農地について、農業サイドから見るとワイン用ブドウの適地。高架線もあり工業団地として活用するのは制限がある場所。団地に拘らずに検討してはどうか。（朝日村はワイン特区になっている） | 産業振興課 | 東京堂ともワイン用ブドウの生産について相談している経緯はある。引き続き協議していきたい。 |
| 38 | 3-3 | 生産から製造、販売まで有機的に連携した商工業振興を行います | 提案 | 企業誘致、起業支援に加えて、すでに事業を行っている村内事業者の新規事業の支援についても方向性としてあるのではないか。多様な農業の在り方、新しいことにチャレンジすることも含めて検討してはどうか。 | 産業振興課 | 新規事業に対する支援の要望があるかどうか確認し、検討していく。 |
| 39 | 6-2 | 誰もが共に支え合う「地域共生社会」をめざします | 質問 | D評価の事業について、理由を求める。 「住民福祉活動のためのセミナー、フォーラム」 「地域づくりリーダー育成のための講座」 | 住民福祉課 | 既存の事業として講演会等を実施してきたが、住民福祉課単独での実施であった。施策を考えると、福祉だけでなく、子ども・障がい・介護・生活困窮等、幅広い対象者（全世代、多分野）に対する事業を実施することが目指されるものになる。そこで福祉関係だけでなく、多分野に広がるように視点を変えて、事業組立てをしていきたいため。 |
| 40 | 6-2 | 誰もが共に支え合う「地域共生社会」をめざします | 質問 | 農福連携の取組みについて、農家の中では需要が増えてきているが、村外の施設（団体）との取組となっている。村内に取組める施設（団体）があれば支援してはどうか。 | 住民福祉課 | 朝日村で障がい団体として挙がるのは「もりのこびと」。団体自身でパン工房やものづくり等展開している状況はあるが、農業立村の朝日村として、行政としては農業という社会資源の場にも参画いただけるとありがたいと考えている。 |